瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく　主体的に学ぶ生徒の育成】

令和4年5月6日（金）　NO．5　文責：校長　柏原　哲郎
HP アドレス　https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

瑞穂中学校がめざすもの

瑞穂中学校がめざすものは、「学校は生徒のためにあり、生徒を鍛える場であり、学びの場である」を基本理念として、学校教育目標である『ふるさとを愛し　心身ともにたくましく　主体的に学ぶ生徒の育成』の実現です。3年間の中学校生活を経て、この学校教育目標を身に付けた生徒を育てることが大目標となります。この大目標の実現のための柱として、めざす生徒像、めざす学校像、めざす教師像があります。

【めざす生徒像】	【めざす学校像】	【めざす教師像】
①「自己に厳しく　根気強く心身を鍛える生徒」 ②「思いやりがあり　感謝の心をもつ生徒」 ③「自己の生き方を考え　主体的に学ぶ生徒」	①「生徒が通いたくなる学校」 ②「保護者が子どもを通わせたくなる学校」 ③「職員が勤めたくなる学校」	①「豊かな人間性にあふれる教師」 ②「使命感にあふれ専門性を磨く教師」 ③「協調性に富み生徒と喜びを共にする教師」

めざす生徒像については、入学式の式辞でも紹介しましたが、①を「気合い」という言葉に、②を「愛」という言葉に、そして③を「夢」という言葉にそれぞれ置き換え、「気合いと愛と夢」という一つのキーワードとして、日頃から教育活動の場面に応じて言葉にして示し、めざす生徒像をより身近に感じさせるとともにその内なるものを身に付けさせたいと考えています。さらに、「行事は生徒（自分）を鍛え、成長させるためにあること。そのためには各行事の目的をしっかりと意識・理解し、取り組んでいくことが大切であること。」を、繰り返し伝えていきます。行事を通して生徒を成長させ、めざす生徒像に近づけたいと考えます。

次に、めざす学校像の①については、生徒にとって学校が楽しい場であることが大切です。分かる授業、良好な人間関係、部活動等の充実が考えられます。それが「笑顔での、行ってきます。ただいま。」の姿となり、我が子のその姿や家庭での話しぶりから②の心情へとつながるものと考えます。そのために、特別支援教育の視点を据えた生徒指導を心がけ、個に応じて一人一人が持っている良さを伸ばす指導に努めていきます。また、各教科の授業改善による分かる授業の実践、新しい教科「道徳」の授業による道徳性の高揚等、こういった点はめざす教師像による力が発揮されなければなりません。特に言葉を磨く、言葉の醸成には力を入れていきます。良い言葉で、生徒を育てることが大切だと考えています。

最後に、めざす学校像の③については、教職員にとって瑞穂中学校が働きやすい職場環境であり、働きがいのある職場であることが重要です。ここで、大きな課題となるのが「学校における働き方改革」です。「働き方改革」という言葉はすでにどの業種にも浸透し、それぞれの業種で取組がなされているものと思います。学校（教職員）についても同様です。この件については今後改めて、国や県、市及び本校の現状等を紹介したいと思います。

今回、学校経営の大きな方針を「瑞穂中学校がめざすもの」として紹介しました。今後、具体的な細かな取組等についても、この瑞穂中学校だよりで紹介していきたいと考えています。

ようこそ、ナタリー先生

コロナ禍で１年以上配置ができなかった本校の ALT として
ハイニ・ナタリー・エリザベス先生が本校に着任されました。
アメリカ合衆国（オハイオ州）出身で、大学で日本語も学ばれ
日本語の理解力、会話力もあり、心強く思っています。
４／２７（水）から勤務開始となり、授業は ５／２（月）から始まりました。先日４／２８（木）には、体育大会の練習のために全校生徒が運動場に集合しましたので、その際、全校生徒に紹介しました。その後、何人もの生徒が側に寄り、弾んだ会話を交わしていました。これからの英語の授業が楽しみです。

大型連休中前半（４／２９～５／１）の部活動の頑張り

この大型連休中には、各部活動で大会や練習試合など、中総体本番を見据えた活動が行われました。活動内容及び結果等をご紹介します。

○ ひまわりテレビ杯バレーボール大会（４／２９）

男子（国見中との合同チームで参加） １回戦 対 島原一中戦 １－２ 敗戦

・どのセットも非常に競り合いとなりましたが、最後は敗れました。残念でした。

女子Aチーム １回戦 対 布津中戦 ２－１ 勝利 ２回戦 対 西有家中戦 ０－２ 敗戦

女子Bチーム １回戦 対 有家中戦 ０－２ 敗戦

・女子Bチームの多くが初めて試合に臨むメンバーでの構成でした。結果は残念でしたが、これからの良い経験になったと思います。女子Aチームは、１回戦は応援が出来ませんでしたが、２回戦の試合は応援が出来ました。強敵相手に良く競り合いました。長いラリーの応酬が何度もあり、見ごたえがありました。この悔しさをバネにして、次に生かしてくれることでしょう。

○ 雲仙市春季バスケットボール大会（４／３０・５／１）

男子 対 国見中戦 ５０－６０ 敗戦 対 愛野中戦 ４７－７６ 敗戦

対 吾妻中戦 ６６－４６ 勝利

・今回応援は出来ませんでしたが、「負けて腐らず、勝って奢らず」の精神で、これからも練習を積み重ね力を付けてほしいと思います。

大型連休中後半（５／３～５／８）の活動内容及び結果等については、次号の瑞穂中学校だよりで紹介します。このように部活動もハードになってきました。また、体育大会の練習も本格的になってきました。生徒もかなり疲れて帰宅するのではないでしょうか。各ご家庭で栄養と愛情を一杯与えていただき、次の元気につなげていただければと思います。

最後に、繰り返しになりますが土日の部活動における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策は引き続き、しっかりとお願いします。また、我々大人からの感染がないように、我が子のために、生徒のために、感染対策を頑張って行っていきましょう。よろしくお願いします。